



副次効果評価調査

主要目標番号	II-1-1.(2)	主要目標に対する副次効果項目	対象地区・箇所	副次効果	評価の説明	評価結果		
主要目標	災害に強い道路の確保							
評価対象地区・箇所名	国道411号・一之瀬高橋改築 II 期							
主要目標項目	I 県民生活の豊かさと経済の発展を支える基盤充実	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	●注	○	混雑時走行速度 24km/h(実測値)<30km/h以下※ 自動車交通量 1,887台/12h<3,428台/12h以上※ 貢献度ランクb	1	
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	●注				
			(3) 市街地内の交通の円滑化					
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●注				
		I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上					
			(2) 憩い空間の創出					
			(3) 生活排水処理機能の向上					
			(4) 良好な市街地空間の確保					
			(5) 適正な居住空間の確保					
			(6) 歩行者等の通行空間の確保	●				
			(7) 道路景観の向上					
		I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上					
	(2) 農業生産力の向上							
	(3) 農業用排水能力の向上							
	(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)							
	(5) 森林整備の効率化							
	II 暮らしと経済活動の安全性確保	II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保	●				
			(2) 災害に強い道路の確保					
			(3) 都市災害防止	●				
			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上					
II-2. 洪水・土砂被害の防止		(1) 洪水被害の防止						
		(2) 土石流被害の防止						
		(3) 崖崩れ被害の防止						
		(4) 地滑り被害の防止						
II-3. 鳥獣被害の防止		(1) 鳥獣被害の軽減						
副次効果項目		交通利便性	交通ターミナル機能の強化	●				
	アクセス機能の維持		●	○	通行止めによる迂回に2倍以上の時間が必要となる道路である。	1		
	主要渋滞ポイントの解消		●					
	生活環境	水質の浄化						
		大気汚染の軽減	●					
		騒音・振動の軽減	●					
		良好な景観の創出	●					
		バリアフリー化の促進	●					
		ライフラインの強化	●					
		身近な緑地・交流の場の提供	●					
		飲雑用水の安定供給						
		糞尿の処理						
		地域の文化・学習等活動の支援						
	各種情報の円滑な提供							
	自然環境	水源涵養機能の向上	●					
		生態系空間の再生						
	事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保	●					
		緊急時の避難・救助機能の確保						
		被災時の被害波及の防止						
		既存施設の崩壊危険性の排除						
走行安全性の確保		●						
生産性	林業生産力の向上							
	遊休農地の解消							
	新たな公共用地の創出							
	農地の保全							
その他	農林産物の販売促進							
	自然エネルギーの活用							
	リサイクルの推進							
	文化・歴史的資源等の保存・復元							
他事業との一体施工	●							
重要プロジェクトとしての位置づけ	●							
副次効果 評点合計						2		

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果」の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。  
 注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクに該当するものは2点、ランク以下の場合には1点とする。  
 注3)「II-1.(1)歩行者等の安全性の確保」、「II-1.(2)災害に強い道路の確保」、「II-1.(4)交差点の安全性、円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価にあたり、「I-1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調査

主要目標番号	II-1-1.(2)	主要目標に対する副次効果項目	対象地区・箇所	副次効果	評価の説明	評価結果	
主要目標	災害に強い道路の確保						
評価対象地区・箇所名	(主) 葦崎増富線・江草大渡トンネル						
主要目標項目	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上		●注			
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上		●注	○	道路改良率 60.2% < 64.0%以下※ 混雑時走行速度 43.7km/h > 30km/h以下※ 貢献度ランクb	1
		(3) 市街地内の交通の円滑化					
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上		●注			
	I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上					
		(2) 憩い空間の創出					
		(3) 生活排水処理機能の向上					
		(4) 良好な市街地空間の確保					
		(5) 適正な居住空間の確保					
		(6) 歩行者等の通行空間の確保		●			
		(7) 道路景観の向上					
	I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上					
		(2) 農業生産力の向上					
		(3) 農業用排水能力の向上					
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)					
(5) 森林整備の効率化							
II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保			●			
	(2) 災害に強い道路の確保						
	(3) 都市災害防止			●			
	(4) 交差点の安全性、円滑性の向上						
II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止						
	(2) 土石流被害の防止						
	(3) 崖崩れ被害の防止						
	(4) 地滑り被害の防止						
II-3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減						
副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化		●			
		アクセス機能の維持		●	○	通行止めによる迂回に2倍以上の時間が必要となる道路である。	1
		主要渋滞ポイントの解消		●			
	生活環境	水質の浄化					
		大気汚染の軽減			●		
		騒音・振動の軽減			●		
		良好な景観の創出			●		
		バリアフリー化の促進			●		
		ライフラインの強化			●		
		身近な緑地・交流の場の提供			●		
		飲雑用水の安定供給					
		糞尿の処理					
	地域の文化・学習等活動の支援						
	各種情報の円滑な提供						
	自然環境	水源涵養機能の向上			●		
生態系空間の再生							
事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保			●			
	緊急時の避難・救助機能の確保						
	被災時の被害波及の防止						
	既存施設の崩壊危険性の排除						
	走行安全性の確保			●			
生産性	林業生産力の向上						
	遊休農地の解消						
	新たな公共用地の創出						
	農地の保全						
その他	農林産物の販売促進						
	自然エネルギーの活用						
	リサイクルの推進						
	文化・歴史的資源等の保存・復元						
他事業との一体施工			●				
重要プロジェクトとしての位置づけ			●				
副次効果 評点合計						2	

注1)「主要目標」に対応する副次効果項目の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。

注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクに該当するものは2点、ランク以下の場合には1点とする。

注3)「II-1.(1)歩行者等の安全性の確保」、「II-1.(2)災害に強い道路の確保」、「II-1.(4)交差点の安全性、円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価に当たり、「I-1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調査

主要目標番号	II-1-1.(2)	主要目標に対する副次効果項目	対象地区・箇所	副次効果	評価の説明	評価結果	
主要目標	災害に強い道路の確保						
評価対象地区・箇所名	(一)横手日野春停車場線・駒城橋						
主要目標項目	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上		●注			
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上		●注	○	道路改良率 41.7% < 64.0%以下※ 混雑時走行速度 43.5km/h > 30km/h以下※ 貢献度ランクb	1
		(3) 市街地内の交通の円滑化					
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上		●注			
	I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上					
		(2) 憩い空間の創出					
		(3) 生活排水処理機能の向上					
		(4) 良好な市街地空間の確保					
		(5) 適正な居住空間の確保					
		(6) 歩行者等の通行空間の確保		●			
		(7) 道路景観の向上					
	I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上					
		(2) 農業生産力の向上					
		(3) 農業用排水能力の向上					
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)					
(5) 森林整備の効率化							
II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保			●			
	(2) 災害に強い道路の確保						
	(3) 都市災害防止			●			
	(4) 交差点の安全性、円滑性の向上						
II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止						
	(2) 土石流被害の防止						
	(3) 崖崩れ被害の防止						
	(4) 地滑り被害の防止						
II-3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減						
副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化		●			
		アクセス機能の維持		●	○	通行止めによる迂回に2倍以上の時間が必要となる道路である。	1
		主要渋滞ポイントの解消		●			
	生活環境	水質の浄化					
		大気汚染の軽減			●		
		騒音・振動の軽減			●		
		良好な景観の創出			●		
		バリアフリー化の促進			●		
		ライフラインの強化			●		
		身近な緑地・交流の場の提供			●		
		飲雑用水の安定供給					
		糞尿の処理					
	地域の文化・学習等活動の支援						
	各種情報の円滑な提供						
	自然環境	水源涵養機能の向上			●		
生態系空間の再生							
事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保			●			
	緊急時の避難・救助機能の確保						
	被災時の被害波及の防止						
	既存施設の崩壊危険性の排除						
	走行安全性の確保			●			
生産性	林業生産力の向上						
	遊休農地の解消						
	新たな公共用地の創出						
	農地の保全						
その他	農林産物の販売促進						
	自然エネルギーの活用						
	リサイクルの推進						
	文化・歴史的資源等の保存・復元						
他事業との一体施工			●				
重要プロジェクトとしての位置づけ			●				
副次効果 評点合計						2	

注1)「主要目標」に対応する副次効果項目の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。

注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクに該当するものは2点、ランク以下の場合には1点とする。

注3)「II-1.(1)歩行者等の安全性の確保」、「II-1.(2)災害に強い道路の確保」、「II-1.(4)交差点の安全性、円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価に当たり、「I-1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。